

兵庫県版

日本の息吹

版 第二〇三号 平成三〇年（皇紀二六七八年）
 九月二二日発行 日本会議兵庫県本部事務局
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
 HP <https://www.nipponkaigyogo.org/>
 メール nipponkaigyogo@gmail.com



《美しい日本の憲法をつくる 兵庫県民の会 活動方針》

活動方針のみ抜粋し、お知らせ致します。

一、国会発議の優先項目として、次の二項目に関する憲法改正原案をとりまとめ、年内の発議を目指して国会に提出出来るよう、各党・国会議員に要望する。

① 国民の九割が支持する「自衛隊」の規模規定を憲法に明記する。
 ② 大規模災害に際し、国民の生命と安全を守る緊急事態条項を憲法に新設する。

「南海トラフ大地震」や「首都直下大地震」の発生が、三十年以内に七十%の確率で想定されている中で、大規模災害から国民の命と暮らしを守る為に、また国際テロや感染症大流行等から国民を守る

為に、憲法に緊急事態条項の新設を提唱し、大災害に強い国づくりを啓発する。

二、県下の衆参選挙区・市町村に「議員」と「民間」が連携したネットワーク（国民投票連絡会議）を形成し、幅広い啓発活動を推進し、来たるべき公民投票における過半数の賛成投票の実現をめざす。

① 県下の衆参選挙区・市町村において「議員」と「民間」が連携したネットワーク（国民投票連絡会議）を形成する。

② 国衆参選挙区・市町村や各団体において憲法研修会を積極的に開催し、憲法改正に関する国民的議論を活性化させる。そのため以下の草の根啓発活動を推進する。民の九割が支持する。

（ア）自衛隊の活動を紹介するDVD「今そこにある危機と自衛隊」の上映・普及運動を県かの

各種集会において展開する。

（イ）県啓発チラシ・ポスター「ありがとう自衛隊」の配布・掲示運動を全国で展開する。

（ウ）インターネット動画配信の「改憲チャンネル」を活用したタイムリーな情報提供を行う。

（エ）県幅広い国民の理解を促進するため、特に女性や青年を対象とした啓発活動を県下で推進する。

《皇太子殿下妃殿下御来県 奉迎活動に参加して》

前号に引き続き、大阪国際空港での奉迎風景をご紹介します。

本年は全国高校野球選手権大会が第一〇〇回の記念大会を向かえ、開会式に皇太子殿下同妃殿下の御臨席を仰ぐとのこと、またその他を訪問のご予定で去る八月四日・五日の両日にわたり御来県の運び

《 8月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 9月29日(土)美しい憲法を作る兵県民の会大会16:00~18:00(講師:伊藤哲夫先生)
- 10月21日(日)全国戦没学徒追悼祭(淡路)
- 11月25日(日)三島忌(時間未定,場所未定)
- 12月9日(日)神戸支部総会(講師:東郷宏重先生(元海上自衛隊(一佐),東郷平八郎元帥曾孫),会場:未定)

未定部分は、決定次第最新号でお知らせいたします。



となり、御行程が大阪国際空港を御利用なされることで、大阪国際空港での奉迎活動を我々阪神北支部で受持つことになった。何分にも少人数の支部ゆえに心配も有ったが前例も有りお受けする事とした。

空港ターミナルビルが改装中との情報で、事前に下見だけは済ませたが準備も行届かず不安のままにその日を迎えた。

両日共に今夏の猛暑日そのもので、参加者の体調も気懸かりで空港ロビーを集合場所と定めてはいたが不安がよぎる。実際には奉迎場所は元リムジンバスの乗り場で覆い屋根がありまた風の通りも多少有り思わずほっとした。集合時間をすぎ確認すると四日は支部会員三名、神戸

から一名、五日は支部会員とその家族で六名、やはり神戸から一名の顔ぶれで、手分けして待合せ客や通行客に日の丸の小旗を差出ながら両殿下の

お成りの旨を告げ、奉迎に参加して戴く様ふれてまわる。

来春新帝として御即位なさること、雅子妃殿下が御同行なされていくことにより多くの人々が手を差出してくださったように思った。

雅子妃殿下がとても御健やかそうな笑顔でもって御手振って頂く様に参加者一同「万歳」の声と共に両殿下の御来県を心から感謝申し上げる事が出来たように思っております。

参加人数については、四日が約五十名、五日が約百名。

（阪神北支部 浅野・金岡）

《英霊感謝の集い》

終戦記念日祭を前にして、山の日の晴天の祝日、神戸護国神社にて、英霊感謝の集いが昨年に引き続き開催された。

会に先立ち、早朝に一〇名程で境内の清掃奉仕を行った、

その後正式参拝を執り行い、「海ゆかば」を各々思い思いに斉唱。

今回の講師は深江塾の森口健一氏。企業を退職後、お住まいの



地域の近現代史の研究、伝承、著述をライフワークに取り組まれている。氏は冒頭に「暮れなご命のかぎり蟬しぐれ」の中曾根元総理の俳句にご自身の思いを重ねられた。地元の埋められていた忠魂碑、殉国の英霊に捧げます碑、空襲犠牲者慰霊の碑、の写真を用意され、碑文も読まれながら由来を説明された。慰霊祭と招魂祭の違い、学校で話をした生徒たちの反応、ヨーロッパの激戦地の後に一面に咲いたポピーの赤い花の話。江藤淳による一連の消された記憶、言葉の話。三島由紀夫氏の「英霊の聲」の一節から天皇のご本質にまで話は及び、最後に日本再生・憲法の話に進まれた。

（神戸支部 市橋）

《神戸支部総会（予告）》

日時：平成三〇年一二月九日（日）

一四時〇〇分 第一部 総会

一五時〇〇分 第二部 特別講演

一七時〇〇分 第三部 懇親会

場所：長田神社社会館（阪神電鉄 神戸高速線「高速長田駅」徒歩一〇分）

特別講演講師 東郷宏重先生

元海上自衛官（一佐）、東郷平八郎元帥曾孫、神奈川県在住、五九歳

演題『明治一五〇年 国を守る気概』

会費：

特別講演のみ 一、〇〇〇円

特別講演と懇親会 五、〇〇〇円

当日会場にて受付

